

ITALIAN DESIGN SUMMER SCHOOL

15th EDITION 27 Aug. - 10 Sep. 2023 (予定)



ALMA MATER STUDIORUM
UNIVERSITÀ DI BOLOGNA
DIPARTIMENTO DI
INGEGNERIA INDUSTRIALE



CEUB
CENTRO RESIDENZIALE
UNIVERSITARIO
BERTINORO



イタリアンデザイン・サマースクール

ボローニャ大学 2023.8.27 - 2023.9.10 (14日間、予定)



イタリアン・デザイン・サマースクールは、2006年の開始以来、デザインについて学ぶまたとない機会を提供してきました。イタリアの伝統「Disegno(ディセーニョ)」が、いかに現代のインダストリアルデザインに息づいているかを学ぶことができます。機能と美学が統合されたユニークなデザインは、イタリアに宿る特別な芸術的空気からインスピレーションを得ています。当スクールは、プロのデザイナーと学生のために開講されます。ボローニャ大学およびベルティノーレ研修センターにて、受講生たちは、さまざまな方法論を使って製品の開発を行い、企業とコラボレーションする実践的なプロジェクトに携わります。デザイナーによるレッスンと具体的なケーススタディは、真のデザインへの扉を開くでしょう。

●授業計画 (合計 125時間)

・理論と実践レッスン	32 時間
・グループでのプロジェクト作業	24 時間
・企業・作家・観光地訪問	40 時間
・個別学習	25 時間
・テストとプレゼンテーション	4 時間
・計	125 時間
・修了証明書の授与 (出席と最終テストを評価)	

●授業科目

- ・ Made in Italy の特徴と価値
- ・ デザイン・メソッド
- ・ デザインの素材とプロセス
- ・ コンセプト・フリーハンド・ドローイング
- ・ プロトタイプ作成のための革新的技術
- ・ 食品デザイン
- ・ クレイモデリング
- ・ デザイナーのセミナー etc...



- 受講者：デザイン分野に関心のある学生 25 - 35 名。インダストリアルデザインをはじめ、建築、工学、コミュニケーション、人文学、自然科学などに興味をもつ学生。基礎的な英語力が必要。

●費用

- ・ 講習料：2180ユーロ (約 35万円)
- ☞ 授業料、宿泊費 (wifi 有)、歓迎会の費用、食費 数 日分、都市バスと大学バスの料金、現地の保険代金を含む
- ・ 航空チケット代金：15 万円～ (自主手配)
- ・ 食費、交際費など
- ・ 参加者はSUAC短期留学奨学金 (4万円) に申請できます。

●申込

- ・ 締切：2023年6月30日
- ・ 公式サイト (<http://italiandesign.ing.unibo.it>) から申込みを行ったうえ、大学所定の誓約書及び申込書の写しを、必ず事務局 (教務・学生室) に提出下さい。
- ・ 問い合わせ：松田達 matsuda@suac.ac.jp

【写真】上左：ボローニャ・マッジョーレ広場 上右：ベルティノーレ研修所 中：Plia, Giancarlo Piretti 下：Tet a Tet, Pier Luca Freschi
希望者が多い場合には、人数制限がなされる場合があります。

ボローニャ大学イタリアンデザイン・サマースクール（IDS S）は、機能と美学が統合されたイタリアのデザインを学ぶ場として2006年に開始以来、毎年世界各地から集まる受講生を対象に開催され、イタリアの伝統的なDisegno(ディセーニョ：デザインの語源、絵を描くことを意味する言葉)が、いかに現代のインダストリアルデザインに息づいているかを体験しながら学ぶコースが構成されている。

世界最古の大学であるボローニャ大およびベルティノーロ研修センターにて、さまざまな方法論を使って製品の開発を行い、企業とコラボレーションする実践的なプロジェクトに携わることができる。IDS S 2017には静岡文化芸術大学からもデザイン学科2年生の6名が参加。アジア、ヨーロッパの各国から集まった学生達（6か国、25名）と8月22日から9月10日までの3週間にわたりイタリアのデザインに関する講義とグループワークに参加、最終日には全員が優秀な成績でのディプロマを授与された。

カリキュラム概要

- ・理論と実践に関する講義 40時間
- ・グループでのプロジェクト作業 34時間
- ・企業・作家・観光地訪問 40時間
- ・個別学習 34時間
- ・テストとまとめ 2時間
- ・計 150時間
- ・修了証明書の授与（出席と最終テストを評価）

講義科目例

- ・Made in Italyの特徴と価値
- ・デザイン・メソッド
- ・デザインの素材とプロセス
- ・コンセプト・フリーハンド・ドローイング
- ・プロトタイプ作成のための革新的技術
- ・食品デザイン
- ・クレイモデリング
- ・デザイナーのセミナー etc...

2017年度訪問企業

- LAMBORGHINI（スポーツカー）
- CARPIGANI（アイスクリーム製造機械）
- DUCATI motorbikes（モーターバイク）
- BABBI sweets factory（菓子）
- Club House Italia（インテリア）

2017年度 参加費：

1890ユーロ（約23万円）
全プログラムの参加費、宿泊費、
期間中の交通費(バス代)含む

受講者

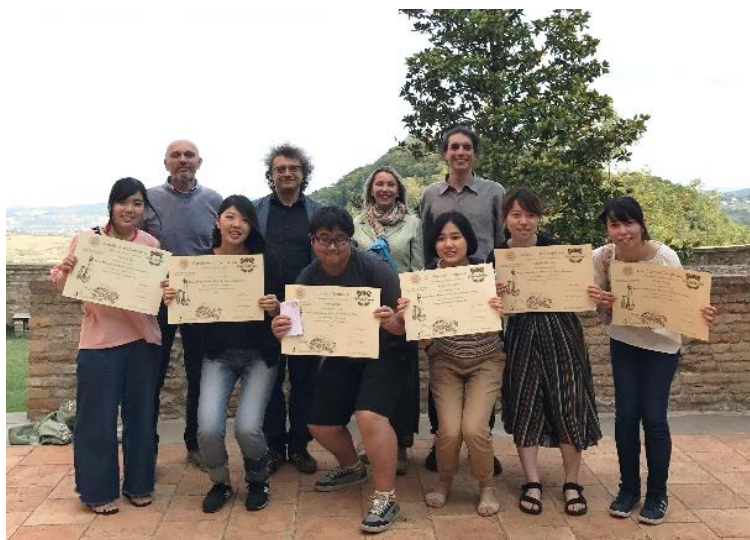
デザイン分野に関心のある学生25-35名。
インダストリアルデザインをはじめ、建築、
工学、コミュニケーション、人文学、自然科
学などに興味をもつ学生。英語の基礎力必要。

2017年は台湾、ベトナム、英国、スペイン等
から25名が参加

今後にむけて

150時間の課程を通して、相応の学習効果が
期待できるため、将来的な単位化も検討され
たい。

本研修のような短期留学は、国際ワーク
ショップ、交換留学など、より豊かな国際交
流への導入体験と位置づけられる。デザイン
先進地域に加え、英語圏をはじめ多様な文化
圏とのさらなる交流機会を開拓してほしい。



(後列左から)
Freschi先生、Piretti先生、Cimatti先生、
Mele先生

(前列左から)
深谷真桜、大久保佑菜、
木挽魁良、西山伽生、
増子葉月、大塚美湖



ポーリャ大の宿泊施設Camplus1に滞在
2～3名で一部屋 各フロアに共同炊事場



ポーリャ大工学部 宿舎からバス+徒歩30分



ポーリャ大芸術学部 宿舎から徒歩20分



ベルティノーロキャンパス (スクール後半の会場)



アイスクリーム製造装置で世界的なシェアをもつCARPIGIANI社見学



著名デザイナーGiancarlo Piretti氏による講義



芸術学部Freschi教授によるドローイング指導



帰国後の報告会

ボローニャとボローニャ大学

ボローニャ（Bologna）はイタリア共和国北部にある都市で、その周辺地域を含む人口約37万人の基礎自治体（コムーネ）。アペニン山脈とポー川の間にあるポー川谷に位置する。1088年創立と、西欧最古の大学ボローニャ大学（ラテン語名アルマ・マタル・ストゥディオルム）がある。また、ボローニャはイタリア有数の発展した都市である。ボローニャのイタリア国内での生活の質の高さは常に10位以内に入る。これは強力な工業都市としての伝統と、都市の位置によるものである。ボローニャは国で最も重要な高速道と鉄道が交差する地点にある。同様に、高度に発展した社会サービスが広範囲に行われている。

※地図上星印がボローニャ
写真はボローニャ市街



渡航

今回イタリアに行くにあたって6名全員がエミレーツ航空を利用。中東系の航空会社だが、拠点がドバイということもあり快適なフライトであった。フライトスケジュールは、
羽田0:30→ドバイ06:15 ドバイ09:00→ボローニャ13:20
所要時間10h45m（時差5h） 所要時間06h20m（時差2h）



現地での生活

○Camplus Guest Bononia
8/22-9/5の15日間滞在。スクール前後の延泊も可能。
毎朝朝食バイキング有り。授業が行われるボローニャ大学
エンジニア・建築学部キャンパスまで徒歩40分、バス&徒歩30分。
初日の8/22の夜にはウェルカムパーティーが行われた。

○Centro Residenziale Universitario Di Bertinoro
9/5-9/9の5日間滞在。標高約250m。
朝食&夕食バイキング付き。

※写真（上） Camplus Guest Bononia 朝食
（下） Centro Residenziale Universitario Di Bertinoro 夕食



企業・史跡訪問

授業の一環として、機械や食、家具など様々な分野を代表する企業へ訪問し、工場の生産ラインや企業のミュージアムなどを見学した。企業訪問では、製品の製造過程や企業の歴史や変遷について学んだ。また、ボローニャやラヴェンナなどの街中にある博物館や教会など数多くの史跡へ行った。史跡訪問を通して、イタリアの伝統的な建築や文化から現代アートまで幅広く学ぶことができた。



※写真（左） carpigiani 訪問時の様子
（右） ボローニャ中心地 教会訪問時

近隣都市

近隣のローマ、フィレンツェ、ベネチアに行った。移動の際にはイタリアの高速鉄道、トレニイタリアを利用。日本の電車とは駅の雰囲気やシステムがだいぶ異なるので事前にネットでよく調べた。ローマ間まで3時間、フィレンツェまで30分、ベネチアまで1時間ほど。どこも日帰りで行ける距離だった。人の多いローマなどはスリやジプシーなどに気をつけた。ローマでは主に史跡の観光、観光場所が近距離にあるので徒歩で回れる。フィレンツェでは買い物と美術館観光がメイン、有名な絵画がいくつか見られた。



講義・演習・グループワーク

ボローニャ大学での講義はすべて英語で行われた。デザインメソッド、CAD、イタリアンデザインについて知る講義など様々。スライド講義が主。ゲストとしてイタリアのデザイナーを招いての講義もあり、貴重な話を聞くことができた。また、近隣の美術大学を訪れ、そこで講義を受ける機会があった。

このIDSSのプログラムでは最終日にテストとグループワーク課題のプレゼンテーションを行う。1グループ5人程度に分かれ、学部や国籍の異なる人とともに1つのデザイン案を作り上げる。講義後にメンバーと集合し、課題を進めた。
※写真は最終プレゼンの様子



まなび・成果

イタリアで過ごした時間を通して、イタリアという国では「伝統と革新の融合」が特に大切にされていると感じた。衣・食・住それぞれの産業において、古くから受け継がれてきた職人の技術と機械による最新の技術を用いて互いによく補いながら共存している姿に感銘を受けた。

また、今回は様々な国から年齢・性別を問わず学生が参加していたため、自国の文化や価値観を教えあいながら交流することができたのも、日本ではなかなか体験できない貴重な機会であった。デザインの本場と言われる国でその歴史と革新を学び、また何もかもが分からないことだらけで自ら積極的にコミュニケーションを取ることの重要性を肌で感じ、デザインを学ぶうえでも精神的にもたくさんのことを吸収できた非常に価値のある3週間であった。





fig.1 University of Bologna - fig.2 Academy of Fine Arts - fig.3 Bologna centre - fig.4 Ducati Museum - fig.5 University residential Centre of Bertinoro

Italian Design Summer School is proposed by



ALMA MATER STUDIORUM
UNIVERSITÀ DIBOLOGNA
DIPARTIMENTO DI
INGEGNERIA INDUSTRIALE



ALMA MATER STUDIORUM
UNIVERSITÀ DIBOLOGNA
DIPARTIMENTO DI
INGEGNERIA INDUSTRIALE

Partner Universities



YUAN ZE UNIVERSITY
TAIWAN



Ho Chi Minh City
University of
Architecture



SHIZUOKA UNIVERSITY
OF ART AND CULTURE



University of Dayton
School of
Engineeri



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



ULPGC
Universidad de
Las Palmas de
Gran Canaria



TONGJI UNIVERSITY
COLLEGE OF DESIGN AND
INNOVATION
同济大学设计创意学院

In collaboration with



Accademia
Belle Arti
Bologna



CEUB
CENTRO RESIDENZIALE
UNIVERSITARIO
BERTINORO

Director: Prof. Giampaolo Campana | Deputy Director: Prof. Dario Croccolo | Co-directors: Prof. Yeh-Liang Hsu, Prof. Ngo Thi Thu Trang, Prof. Hideki Kobayashi, Prof. Tatsu Matsuda, Prof. Pedro Manuel Hernández Castellano, Prof. Jun-Ki Choi, Prof. Fazleena Badurdeen, Prof. Parsa Pahlavan

For further information
and tuition fees, please

/Contact
din.itadesign@unibo.it

/Visit our website
italiandesign.ing.unibo.it



15th edition Italian Design Summer School

27/08 - 10/09

Bologna - Bertinoro , Italy

Art Society Industry

Art, Society, & Industry

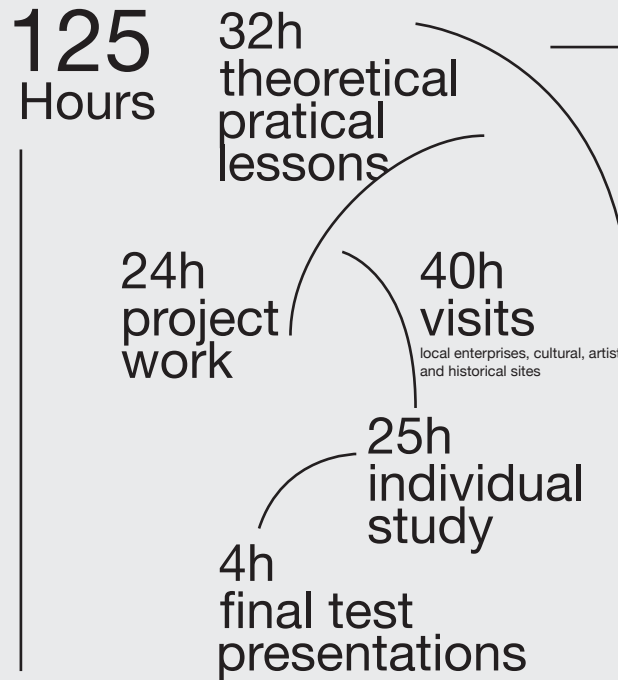


Italian Design has a long tradition and is famous worldwide thanks to the Made in Italy products. Functionality and aesthetics are integrated into Italian industrial products, the beauty and quality of which make them popular on all continents. Italian designers take their inspiration from the special Italian artistic atmosphere that has its roots in the Renaissance Italian art of amazing artists such as Giotto, Michelangelo and Leonardo.

The ITALIAN DESIGN SUMMER SCHOOL (IDSS) offers a unique opportunity to experience the Italian atmosphere and understand how the Italian culture and tradition of "Disegno" has led generations of Italian designers. The inspiration from this unique environment has brought the creation of innovative and beautiful objects that are internationally successful. The integration of the two approaches, industrial and craft, makes Made in Italy products unique and implies extreme attention to detail that contributes to their excellence.

This experiential course is addressed to both students and professionals interested in product design. A significant number of hours is dedicated to a group project-work in collaboration with a local enterprise. Visits to the manufacturing plants and lessons delivered by professional designers allow students to enter real industrial production and apply to concrete cases the methodologies learned during the course. Trips to artistic and cultural sites enable students to immerse themselves in Italian culture and society.

IDSS has been proposed since 2006, offering hundreds of students the possibility to study and learn through a pleasant and fruitful experience at the University of Bologna. After a forced pause due to the Covid pandemic, IDSS is back with several novelties!



Experiential learning



Visits to manufacturing companies and artistic, cultural and historical sites



Project work in collaboration with a local enterprise



Students live and experience the ambiances of Bologna city and Bertinoro village



**Accommodation for the whole period
Meals included in Bertinoro**



Private bus for transports

Subjects and activities

An IDSS certification of completion will be delivered at the end of the school.

- The Made in Italy system
- Italian industrial Design history
- Italian art history
- Concept freehand drawing
- Design methods
- Production processes and Additive Manufacturing for Design
- Computer-Aided Design
- Fashion and style
- Food Design
- Seminars of professional designer
- Project work in groups
- Visits to local enterprises
- Visits to cultural, artistic and historical sites



Students

From 25 to 35 undergraduate or graduate students in Industrial Design, Architecture, Engineering, Applied Arts, and Communication as well as qualified students in other disciplines with interest in Design. Designers and professionals dealing with industrial Design and applied art are also welcome. Basic knowledge of English is required.

